

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・ 県費負担の学校サポーター等派遣による消毒作業や学習準備等の軽減
- ・ 医療相談アプリ「リーバー」導入による児童生徒・職員の体調把握
- ・ web 会議等による出張等の縮減，研修等の効率化
- ・ 長期休業・臨時休業中の在宅勤務の奨励
- ・ 市教研関係行事の見直し（市小学校陸上記録会，市小中学校音楽発表会，市教育論文発表会等の中止）
- ・ 小１，中１の３０人学級の実現（市常勤講師の配置）
- ・ 中学校３５人学級実現のための，市常勤講師の配置要望（３密を避ける環境づくり）
- ・ 不登校児童生徒への県教委指導主事によるオンライン授業

視点２ 自校での取組

- ・ 学校行事の見直し（各種行事の削減・縮減，内容の変更・簡略化）
- ・ 集会のリモート化（始業式，任命式，表彰など）
- ・ 学年会の時間割への位置づけ
- ・ 授業時間数の確保（モジュール学習導入，学習内容の軽重検討等）
- ・ 部活動の複数顧問制（正副顧問が指導する曜日を交代制とする）

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・ 土曜日・日曜日の部活動のクラブ化
- ・ 教職員の意識改革推進の継続
- ・ 働き方改革に関する保護者・地域住民への啓発
- ・ 特別支援教育の充実のための人的配慮と教育支援の在り方
- ・ 校務支援システム導入等による業務の効率化
- ・ 長期休業期間中の在宅勤務・時差出勤等のさらなる推進